

## Press Release

July 1, 2021 | ID: 21-V034

# ボルボ・カーズ、次世代の電気自動車では 航続距離と急速充電に注力

本プレスリリースは、6月30日スウェーデン本社発の翻訳版です

ボルボ・カーズは、完全な電気自動車会社への移行を急速に進めており、バッテリーセル技術の開発と生産を本社に地理的に近づけ、より長い航続距離とより早い充電時間という顧客のニーズに合わせた将来のバッテリーを開発することを目指しています。

そのためには、全く新しい電気自動車専用の技術ベースを採用した最初の SUV 電気自動車を皮切りに、今後発売される第 2 世代の電気自動車のリチウムイオン電池技術を向上させることが必要です。2020 年代半ばには、第 3 世代の電気自動車を導入する予定で、航続距離をさらに伸ばし、バッテリーパックを車のフロアに統合し、セル構造を利用して車両全体の剛性を高めるとともに効率を向上させる計画です。

近い将来、ボルボ・カーズは、スウェーデンの大手バッテリーメーカーである Northvolt (ノースボルト) と協力して、バッテリーセルのエネルギー密度を現在の市場にあるものに比べて最大 50% まで高めることを計画しています。さらに、2020 年代の後半にエネルギー密度 1000Wh/l を達成し、実走行距離 1,000km を達成したいと考えています。

バッテリー技術の向上、ソフトウェアや急速充電技術の継続的な改善により、現在の充電時間は 2020 年代半ばまでにほぼ半分になると予想されています。

ボルボの最高技術責任者であるヘンリック・グリーンは「私たちは、電気自動車を運転することで得られるお客様のメリットを常に高めていきたいと考えています。バッテリーセルの設計と統合をシンプルにすることで、重量を減らし、スペースを最大限に活用することができ、バッテリー容量、航続距離、充電時間を大幅に改善することができます」と述べています。

ボルボ・カーズが完全な電気自動車の会社になることを目指すと同時に、サステナビリティの重要性も高まっています。ボルボ・カーズは、今後 10 年間で自動車に搭載するバッテリーのエネルギー量を増加させる一方で、二酸化炭素の排出量を継続的に削減する努力をしていきます。

ボルボ・カーズが計画している Northvolt とのコラボレーションによるバッテリーセルは、100%再生可能エネルギーを使用して生産することを目指しており、他のバッテリーサプライヤーとも 2025 年までに同様のことを行えるよう推進しています。

ボルボ・カーズは、バッテリーに含まれる貴重な素材を有効活用することで、バッテリーの二酸化炭素排出量をさらに削減するという明確な戦略を持っています。ボルボ・カーズは、可能な限りバッテリーを再製造または再利用することを意図しており、エネルギー貯蔵などの二次利用の可能性についても調査しています。

可能な限り、寿命が来たバッテリーは、将来のバッテリーに使用する重要な材料のクロードループリサイクルを提供できる認定リサイクル業者でリサイクルされます。ボルボ・カー・グループが計画している Northvolt とのパートナーシップにより、彼らの確立されたリサイクル事業を活用する可能性が高まります。

また、ボルボ・カーズは、ブロックチェーン技術の利用拡大を含め、責任あるバッテリーの調達に引き続き注力していくとともに、パートナーやサプライヤーとより密接に連携することで、責任ある調達を強化していきます。

次世代の電気自動車の SUV では、双方向充電を提供し、自動車のバッテリーで余った電気を電力網に流すことができるようになります。これにより、電気自動車のドライバーは、電力生産に関連する価格や CO<sub>2</sub> 排出量が日々のピーク時には電力網にエネルギーを供給し、排出量が減少した時には車を充電することができます。

ボルボの最高技術責任者であるヘンリック・グリーンは「私たちは、お客様の生活をより快適で楽しいものにする、持続可能な電気自動車を提供したいと考えています。スマートなイノベーションと主要なパートナーとのコラボレーションにより、航続距離の延長、短時間での充電、低コストなど、お客様が求めるものを提供し、電動モビリティの普及をさらに促進することができます」と述べています。

ボルボ・カーズの電動化ロードマップは、戦略的パートナーとの協力の下、バッテリー、電気モーター、関連ソフトウェアの設計、開発、生産を自社で行う垂直統合に重点を置いています。その目的は、バッテリーのサプライチェーン全体を通して、可能な限りの相乗効果と効率化を達成することです。

6 月初め、ボルボ・カー・グループは、持続可能なバッテリーを開発・生産するための Northvolt との提携計画を発表しました。これは、次世代の電気自動車であるボルボとポールスターを駆動するためのもので成長を支えるために必要な持続可能なバッテリーの将来的な供給を確保するものです。

Northvolt との協力関係は、2030 年までにプレミアム電気自動車の分野でリーダーとなり、純粋な電気自動車のみを販売するというボルボ・カーズの高い目標を実現するために重要なものです。また、技術的なリーダーとのパートナーシップと相まって、生産および開発における自社能力を拡大するための重要なステップとなります。

## 2020 年のボルボ・カー・グループ

2020 年度のボルボ・カー・グループの営業利益は 85 億 SEK(スウェーデン・クローナ)(2019 年度は 143 億 SEK)を記録しました。売上高は 2,628 億 SEK(前年 2,741 SEK)に達しました。2020 年通年の世界販売台数は 661,713 台(705,452 台)で、2019 年と比較して 6.2%の減少となりました。

## ボルボ・カー・グループについて

ボルボ・カーズは、1927 年に創業した高級自動車ブランドの一つで、2020 年には約 100 カ国で 66 万 1713 台を販売しています。2020 年 12 月現在、ボルボ・カーズの正社員は約 40,000 人(前年 41,500 人)で、ボルボ・カーズの本社、商品開発、マーケティング、管理機能は主にスウェーデンのイエーテボリにあり、アジア太平洋地域本社は中国・上海にあります。主な生産拠点は、イエーテボリ(スウェーデン)、ゲント(ベルギー)、サウスカロライナ州(米国)、成都および大慶(中国)で、そのほかショブデ(スウェーデン)と張家口(中国)にエンジン工場があり、オルフストローム(スウェーデン)に車体部品工場があります。

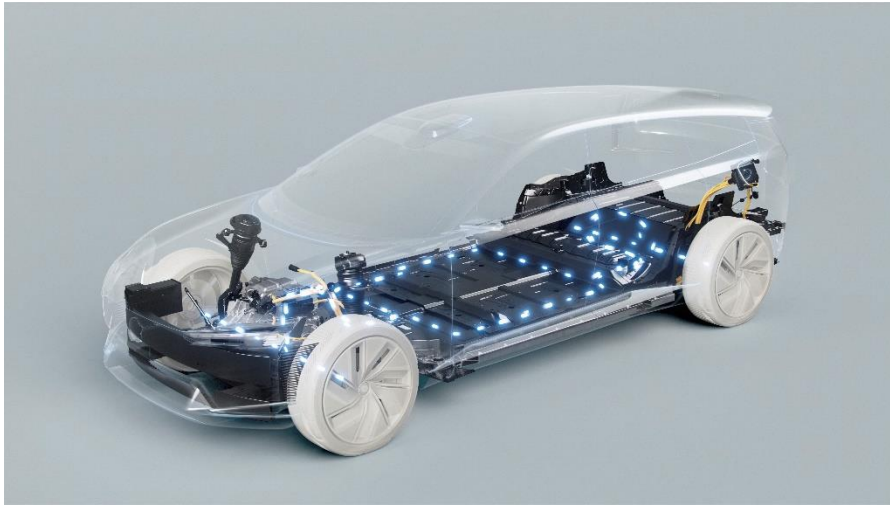
ボルボ・カーズは、企業目標「Freedom to Move(モビリティの自由)」のもと、個々のニーズを満たせる持続可能で安全なモビリティをお客様に提供することを目指しています。この目標のもと、今後 5 年間で電気自動車の世界販売台数を 50%にし、500 万人のお客様とのダイレクトコンシューマービジネスの確立を目指しています。また、ボルボ・カーズは 2040 年までにクライメート・ニュートラルを実現することを目標に、CO<sub>2</sub> 排出量の継続的な削減に取り組んでいます。

報道関係お問合せ先

ボルボ・カー・ジャパン 広報

[vcjpr@volvocars.com](mailto:vcjpr@volvocars.com)

## Related Images



[More Images >](#)

Copyright © 2021 Volvo Car Japan Limited